

2025年1月30日

報道関係者各位

バイク未来総研

バイク未来総研、第51回『リセール・プライス』ランキングを発表 『カワサキ・Z900RS SE』が初の首位獲得！

対象期間 2024年9月～2024年11月

バイク業界のよりよい未来を考え、新しい価値を調査し、分析した内容を広く社会に発信することを目的に活動を行うバイク未来総研(所在地:東京都世田谷区、運営:株式会社バイク王&カンパニー)は、2024年9月～2024年11月の期間を対象に、「再び売却した際、高値の付くバイク」＝「“リセール・プライス”の高いバイク」上位10車種を、バイク王が運営するバイク情報サイト『Bike Life Lab』に発表いたしました。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。51回目となる今回は、Z-900RSのハイグレードモデル、『カワサキ・Z900RS SE』が初の首位に輝きました。

◇ 『カワサキ・Z900RS SE』が初の首位獲得！



※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「バイク未来総研調べ
(<https://www.8190.jp/bikelifelab/bikefuture/resale-ranking/newest/>) 」とご明記ください。

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Z900RS SE	109.5 Pt
2	ホンダ・X-ADV	109.2 Pt
3	カワサキ・ELIMINATOR	108.7 Pt
4	カワサキ・ELIMINATOR SE	102.7 Pt
5	ホンダ・Gold Wing Tour	101.6 Pt
6	カワサキ・ZX-4RR	96.0 Pt
7	カワサキ・ZX-4R SE	94.2 Pt
8	ヤマハ・XSR900 GP ABS	88.9 Pt
9	ホンダ・ADV160	87.1 Pt
10	ホンダ・CB1300SUPERFOUR SP	84.2 Pt

◇対象期間 2024年9月～2024年11月

51回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『カワサキ・Z900RS SE』が首位に輝きました。

■ 初の首位に輝いた、カワサキ・Z900RS SE。最新モデルの発売が影響？

Z900RS の上位モデルとなる Z900RS SE は、往年の Z1 を彷彿とさせる「イエローボール」をベースとした SE モデル専用のボディカラーを採用し、ゴールドのホイールやフロントフォークはより上質なイメージに仕上げられています。一方で、ブレンボ製のフロントブレーキキャリパーとパッド、オーリンズ製のリアサスペンションを採用するなど足回りがグレードアップされ、上質なライディングフィールとコントロール性を実現しています。

歴代の『リセール・プライス』ランキングにおいて最多のランクイン回数を誇る、安定した人気の Z900RS の上位バージョンである事はもちろん、2024年9月に発売された Z900RS SE の2025年モデルではカラーが変更され「イエローボール」カラーがより希少となった事などがランキングに影響を与えた結果と推測できます。今後のランキング順位にも注目が集まります。

■ 二期連続首位のホンダ・X-ADV は僅差で 2 位も、安定した人気！



第 49 回、50 回ランキングにおいて首位獲得のホンダ・X-ADV は、今回首位のカワサキ・Z900RS SE と 0.3 ポイントの僅差で 2 位となりました。

国内では、ツーリング・アウトドアレジャーなど汎用性を求めるユーザーの心をつかみ、海外ではまだまだ続くオールラウンド機の需要も重なり、前回よりポイントを落としたものの 109.2pt を獲得し、2 位にランクインしました。

集計対象期間（2024 年 9～11 月の 3 ヶ月）後の 2024 年 12 月 12 日に 2025 年モデルが発売となったため、再びポイントを重ね首位に振り返り咲くのか、次回のランキングも要注目バイクです。

■ 80 年代のレーサーレプリカをオマージュした XSR900GP ABS が 8 位に初ランクイン！



ヤマハ発動機

8 位に初ランクインを果たしたのはヤマハ・XSR900 GP ABS。本モデルは、2023 年秋に欧州で発表されたヤマハの新型車、XSR900 GP が、国内向けに 2024 年モデルとして 2024 年 5 月 20 日に発売されました。1980 年代のレーサーレプリカブームの真っ只中に存在感を示したレーサー「YZR500」をオマージュしたその佇まいはハンドルやガソリンタンクなど一つ一つの形状にも拘り、当時を知る者にはノスタルジーを感じさせ、現代の若者には斬新に映るマシンとなっています。2024 年 5 月に 2024 年モデルが発売されたのを受け、初のランクインを果たしました。

■ 上位 5 車種が 100pt 越え！中古バイク市場が 2022 年以来再び活況？

ランキングを通じて、長く続く円安による海外バイヤーの応札による相場引き上げ、そして、話題の新モデルが多く登場した期間の集計という事もあり、全体的にポイントが高くなった期間となりました。100pt 超えは一定の人気が集まっている目安となりますが、今回はランキング 10 車種中、5 車種が 100pt 超えとなる期間となりました。5 車種以上 100pt 超えの期間は第 43 回ランキング（集計期間 2022 年 9 月～11 月）以来となり、前回の 50 回ランキングでも 4 車種が 100pt 超えしていることから、2024 年夏頃から中古バイク市場が再び活況であることが伺えます。

年間約 10 万台を取り扱うバイク王では人気のある良質な在庫を確保し、豊富な車種・車両を全国のバイク王で販売しております。今後も国内ライダーの皆さまの期待にお応えしてまいります。

5車種が100pt越えを果たした第51回の『リセール・プライス』ランキング。次回のランキングの動きにもご注目ください。

※排気量別ランキングは、バイク王が運営するバイク情報サイト『Bike Life Lab』内にある、バイク未来総研の記事に掲載しております。

<https://www.8190.jp/bikelifelab/bikefuture/resale-ranking/newest/>

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2025年1月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、業者間オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、中古バイクの年間取扱台数約10万台の『バイク王』が取り扱うデータを基に、バイク未来総研が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2025年1月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2025年1月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、バイク未来総研独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

■ バイク未来総研所長 宮城光のココがポイント

改めて、カワサキ Z900RS の安定感に脱帽と言えるだろう。今回のランキングトップはグレードの高い Z900RS SE と、今までに十分にバイクで走り込んで来たベテランライダーも納得のハイスペックモデルで、所有感、走りを見ても十分に満足度を与えてくれるモデル。実際のところ、週末のサービスエリアや道の駅などで、Z900RS を見ない事は無いぐらいに多くのライダーに支持されている。車体流通が活発だけに、サードパーティー各社も商品開発に余念が無い辺りも、ユーザーには安心の購入材料となっているのだろう。

一方、ホンダ X・ADV に関しては、作り込みに加えて走りの良さ、デザイン性含め乗れば楽しいマシンとは言うものの、常にランキング上位に居ながらも実際には市街地での遭遇が少ないのが実情だ。国内での取引が活発なもの、実走行では海外需要が多いとも言える。林道好きの私としては、奥深い林道での遭遇に期待もするのだが。

カワサキ エリミネーターは普通二輪免許で乗れるマシンとしての充実度は高い。普通二輪免許で乗れる最大の近い排気量に ETC やドライブレコーダーなどの装備は、アップライトなポジションゆえツーリングへの誘いも魅力になっているのだろう。

ホンダ・Gold Wing Tour の上位ランクインは、実際にツーリングポイントでも見かける様になっている。リセールマーケットに出て来るマシンのコンディションも大変に良いレベルで、前オーナーの多くが大切に扱って来た事が良く分かり、指名買いのお客様数での動きと見て良いだろう。



【バイク未来総研 について】

2022年3月にバイク業界のよりよい未来を考え、新しい価値を調査し、分析した内容を広く社会に発信することを目的に発足しました。

国内外のレースで輝かしい成績を挙げ現在はモータージャーナリストのほか多方面で活躍する宮城光氏を所長に迎え、バイクライフの楽しさやバイク王が持つバイクに関する独自データ分析などの情報発信に加え、ライダーやバイク業界がこれから描く「未来」に切り込んだコンテンツを順次発信します。

**本リリースに関するお問い合わせ先**

株式会社バイク王&カンパニー 東京都世田谷区若林3丁目15-4
メディアプロモーションチーム 担当：赤松、萩原
E-mail: prir@8190.co.jp

その他取材に関するお問い合わせ先

バイク王では、バイクに関する取材を随時受け付けております。
取材受付フォーム: <https://www.8190.jp/contact/media/>